

番号	種類	ページ	意見	対応（計画書への反映等）	委員名
1	総計基本構想	11以降	課題③「…まちの魅力」としているが、地域ではなく「まち」という言葉を使うことに意味を含ませているのか？意味を持たせるなら＜まち＞とし、下欄にここで使用する＜まち＞の定義を挿入すべきです。 同様に課題④の「まちづくり」も定義を再検討してください。国の文書でよく使用されている地域以外に、都市、市、まちと定義や使い分けの基準が明白にされず混在していて、理解しにくいです。City、Town、Localに対応するのはどれですか？カタカナであってもシティに対応する日本語が、いくつも同一文書のなかにあるのは避けたほうがよいと思います。	御意見を踏まえ、課題③の「まち」を「地域」に修正しました。 また、課題④の「まちづくり」を「地域づくり」に修正しました。 全体的な表記については別途見直します。	山本睦委員
2	総計基本構想	16	「みんな」は話し言葉ですが、書き言葉として使える「誰も」や、より具体性と境界が明確になる「すべての市民」ではいけないのでしょうか。	「誰もが」も検討しましたが、敢えて柔らかい語感を採用し、「みんな」としています。	山本睦委員
3	総計基本計画	7	大綱⑤の基本目標「地域が好き」は妥当性が低いです。時代のニーズということであれば、次世代通信環境整備状況や未来志向性、新しさへの情報感度などが目標となるのではないのでしょうか。	御意見のとおり「地域が好き」は妥当性が低いので削除しました。 「市民自治・都市経営」に関する大綱になりますので、「市政に対する満足度」を基本目標とします。	山本睦委員
4	総計基本計画	16	生涯学習に関して、「市民のニーズにあった」とされていますがニーズ調査事業が必要だと思えます。特に、コロナ禍の影響で再就職・転職の機会拡大を受け、高度技術資格が必要で、従来人手不足が顕著だった分野への資格取得につながる講座開設や経済的・時間的支援は、雇用政策上も有効です。しかし、ここでの記述は「生きがい」づくり＝余暇の消費のための生涯学習しか展開されておらず、成人教育やキャリア再構築の視点が弱いと思えます。	御意見を踏まえ、基本事業の内容を追記しました。	山本睦委員
5	総計基本計画	22	1-6-(2)学校での外国人の子どもへの適応支援、子どもたちへの共生理解（差別・偏見の抑止）についての取り組みも、教育委員会と連携して事業として取り組むことはできないのでしょうか。	御意見を踏まえ、1-2の教育に係る基本事業の内容を修正しました。	山本睦委員
6	総計基本計画	全	どれも縦割で担当課が一つで考えられている項目が多すぎる。例えば、5-1「市民自治」という言葉を使うなら、教育の分野で「シティズンシップ教育」の話が出てこないのは不自然に思える。担当課だけでなく、連携する課も記述しておくのと横のつながりを意識して事業が考案でき、市民にも事業が見えやすいのではないのでしょうか。	御意見を踏まえ、基本事業の内容を修正しました。	山本睦委員
7	総計基本構想	11	課題③ 本市は富士山やゴルフ場、スキー場、自然動物園などの地域資源を有しており、これまで「全世界に発信できるフィルムコミッション事業などを含んだ」シティプロモーションの推進により、交流人口の拡大に取り組んできました。※これまで構築してきたフィルムコミッション事業はあるもの磨きが出来、誰もが参加しやすくシビックプライドの効果が発揮できるので是非、追記して頂きたい。	御意見を踏まえ修正しました。	増田委員
8	総計基本構想	12	課題⑤ 本市はこれまでも市民協働によるまちづくりを推進し地域課題を解決する主体的な取り組みへの支援や自治会「、婦人会等」との連携による…※これまで、子育て、リサイクル、災害時、福祉環境など多岐に渡り自治会と共に行政とのパートナーして活動してきました。婦人会とは是非追記をお願いします。	御意見を踏まえ修正しました。	増田委員
9	総計基本構想	17	施策の大綱2、就農者の高齢化や後継者不足の課題に対応し、新たな担い手を育成すると共に農産物の特産化や「稼げるの農業を目指し、AI導入も視野に入れた」六次産業化の推進…※輸入がままならい現在の状況を見ると。耕作放棄地が工夫次第で収入を産みだし、食料自給率もあがり、市民の食事情が安定するのですから、農業には本腰を入れるべきだと思います。実現できる大綱をお願いします	御意見を踏まえ修正しました。	増田委員
10	総計基本計画	22	1-6-(1) あらゆる場において「人権を尊重し」、男女が共に責任をもって…※男女共同参画の根幹は互いの違いを認め合うことだと承知しています。最近ではダイバーシティの方がわかりやすいかもしれません。とはいえ国や県が男女共同参画をを推進しているのですから、そちらとも連携をとり、なぜこの法律ができたのか原点を振り返る時期だと思います。ぜひ追記をお願いします。	御意見を踏まえ修正しました。	増田委員
11	総計基本構想	6	基本構想に、新型コロナウイルス感染症のことを取り上げていただき、自然災害の他にも社会経済活動を停滞、縮小させる要素の発生懸念を示すことは良かったと思います。表現が難しいと思いますが、基本計画には新たな危機管理体制を組み入れていることが判るように表記することは大切だと思います。	御意見を踏まえ、基本計画の施策の柱3-2にもコロナの記載を追記しました。	一之瀬委員

番号	種類	ページ	意見	対応(計画書への反映等)	委員名
12	総計基本構想	12	課題⑤の「多様な主体との協働・連携」について、現状の地域課題に取り組んでいる内容と、9行目以降に記載の、今後の取り組み方や関わり方は同じに見えます。このことから、9行目以降は、「今後も引き続き…」等、今まで市民協働や、多様な主体と連携を礎にして、課題解決を進める表記にした方が良いのではないのでしょうか？	御意見を踏まえ、表現を修正しました。	一之瀬委員
13	総計基本計画	30	商企業の参入の動機付けとなる人口、住宅、交通流などの要素を両駅のコンパクトなエリアに集約し、商業とくに飲食業界の強化により、まちの賑わいの相乗効果を出したい。	立地適正化計画に基づき、コンパクトシティ・プラス・ネットワークを具現化していく過程で、商業的なまちの賑わいづくりについても検討してまいりたいと考えます。	小川委員
14	総計基本計画	34	従来型の観光誘致のみでなく、新しい観光の形に挑戦したい。体験型、ワーケーション、「来る」から「住む」へ。訪問人口の増加から始めて居住人口の増加につながるように住む場所としての良さを見せたい。	モノ消費からコト消費に観光ニーズがシフトしておりますので、「ここでしか味わえない体験」をいかに作り出していくか、市民や事業者等と共に検討してまいりたいと考えます。	小川委員
15	総計基本計画	58	様々なMaaSの取り組みは事業としての採算の成立が難しいことがわかってきているので、事業、商サービスとの組み合わせによる事業性確保に挑戦したい。特に郊外の人口規模で成功すれば世界的に注目されると思う。交通量が確保できれば、実際にコンパクトシティになってなくても、現状の分散型の旧住居のままでバーチャルにコンパクトシティとしての機能を成立できる可能性があると思う。	都市型のMaaSをそのまま当市に導入することはできませんので、5万人都市としての新たな交通・移動システムについて、他の様々な事例も研究しながら検討してまいりたいと考えます。	小川委員
16	総計基本計画	68	協力する市民を見出す仕組みを他の地域をお手本に実行したい。主体的にできる人に、声を掛ければ協力してくれる人を加え、頑張った人が報われる自立した自治共同体をつくっていききたい。	「みらい会議」等をうまく活用しながら、自分事としてまちづくりに関わる市民を増やしてまいりたいと考えます。	小川委員
17	総計基本計画	37	直近の準高地トレーニングや自転車ロードレース関係も良い取り組みですが、総合運動公園の野球場を拡張して、プロ野球のキャンプや試合ができるようにする事も良いかと思えます。(ヤクルト工場も近くにあり、また日本人は「野球が好き」です。	御意見も参考にしながら、地域が潤うような観光を目指してまいります。	八木会長
18	総計基本計画	70・71	「シテイプロモーションの推進」全体での、主な取り組み事項が「弱い」気がします。従来の踏襲になっているので、「裾野市の魅力を市外に広げる」のは「ウーブン・シティと同期させる」ことが大事だと思います(遅れないように)ので、魅力的で効果的な新規取り組みがあればと思います。	ウーブン・シティによって裾野市の認知度はかなり上がりましたので、今後、ウーブン・シティとの連携によって、まちの魅力向上に向けた新たな取組も模索していきたいと考えます。	八木会長
19	総計基本構想	4	裾野市や地域への愛着や誇りについてのアンケートの結果がグラフとなってましたが、回答した市民の人数、年齢層がでていませんでした。調査及び結果に人数、年齢層を入れたほうが良いと思います。	ここは市民意識調査結果の詳細を記載するというよりも、「約7割の人が「地域が好きだ」と回答」している根拠として出典を明らかにすることを主眼としていますので、そのままの記載とします。	岩瀬委員
20	総計基本計画	3	稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにするとありますが、企業が裾野市に拠点を構えやすいように本社や工場を建設できる土地の情報をもっと出したほうが良いと思います。実際私も裾野市内に本社を建設したくていろいろ調べましたが、運送業に向いてなかったり、建物を建設できない土地の情報ばかりでした。別の市はすぐに土地をいくつか紹介してくれて他市への移転も考えましたが、どうしても裾野市で探したくて、結局本社移転に7年かかりました。	現状ではすぐに紹介できる事業用地がほとんど無い状況ですので、今後は新たな事業用地の創出に向けて取り組んでまいります。(施策の柱2-1に記載しています。)	岩瀬委員
21	総計基本計画	34	「2-5 地域が潤う観光まちづくりの推進、裾野市の魅力を観光に生かし、裾野市にまた来たい、裾野市を人にすすめたいと感じる人が増えています」とありますが、富士山という世界屈指の観光資源があるのに観光レクリエーション客数が少なすぎると思います。観光資源を生かせてないので、もっと企業の力を借りたほうが良いと思う。大型ホテルの誘致など。	御意見を踏まえ、2-5に宿泊できる施設を増やしていく旨追記しました。	岩瀬委員
22	総計基本計画	53	「ウーブン・シティを含む裾野市内において、現行法では実現が難しい取組みに対し、特区制度を活用するなど、国等に対し規制緩和を要望します。」これはものすごく大事なことだと思います。企業が活躍しやすい環境整備をお願いします。	企業が活躍しやすい環境整備を目指してまいります。	岩瀬委員
23	総計基本構想	4、11	パンデミックの記述を入れていただいたことは良かったと思いますが、その影響は今後の経済、社会、個人の生活様式にまで大きなインパクトを与えることが明らかになってきました。そのため、危機管理体制の強化のみならず、リモートワーク等を活用した新しい働き方や生活様式の構築が求められる旨の記述を入れた方がよいかと思えます。P11の課題④の表題に「持続可能で災害等に強く～」にして、新しい働き方や生活様式の記述を入れた方がよいのではないのでしょうか。	御意見を踏まえ、文章を修正しました。	西野委員

番号	種類	ページ	意見	対応（計画書への反映等）	委員名
24	総計基本構想	8、11、15	ウーブンシティの記述はP3の2のところにしか記述がありません。市では既に変前向きの取り組みを打ち出しています。前回の審議会でも多くの積極的な意見が出されました。P8の「未来技術を活用した地域課題の克服」、P11の課題③地域資源を活かした交流促進・まちの魅力の発信強化」、P15の「未来志向のまちづくり」、のところで記述を入れていただいた方がよいのではないかと思います。	御意見を踏まえ、P15の「未来志向のまちづくり」に記載を追加しました。	西野委員
25	総計基本構想	4	まちに対する愛着や誇りを持つ市民が多い状況とは、6割のアンケートから言いきる根拠は何ですか。27	市民の65%が「地域が好きだ」と回答していることから、そのように表現しています。	市川委員
26	総計基本構想	5	全国的な人口減少・少子高齢化の進行の最初の部分の記載、元となる2008年の人口数を記載したほうがわかりやすいと考えます。	御意見のとおり追記しました。	市川委員
27	総計基本構想	6	国土強靱化とは、の説明について、出典があるなら記載していただければと思います。	文中に「国の国土強靱化基本計画では」という文言を追記しました。	市川委員
28	総計基本構想	6	赤字の追加部分はですますで記載してください。	御意見のとおり修正しました。	市川委員
29	総計基本構想	27	2-1-(2)企業の立地維持とは具体的にどのような取組をされるのですか。	企業訪問を行い、企業側の要望事項を改善することにより、企業の立地維持を図るものです。	市川委員
30	総計基本構想	27	2-1-(3)担当課の業務としては、採水の立ち合いではなく、水質検査としたほうがよいのではないのでしょうか。誰が主体的に実施する業務ですか。	水質検査を行うのは事業者になります。市は採水の立会いを行っていますが、立会いを行っている事業者数は1社であり、文章表現も誤解を生みやすいため削除しました。	市川委員
31	総計基本構想	43	3-2-(3)未整備河川の整備とはどの河川をさして言うのですか。	「河川の整備及び維持修繕」に修正しました。	市川委員
32	総計基本構想	74	5-4公共施設等マネジメントの推進 公共施設の延べ床面積は、現状15.5㎡→めざそう値14.7㎡でよいですか。	14.7㎡で間違いありません。 現公共施設等総合管理計画では、2016年から30年で30%の縮減を目標としています。10年5%、20年10%、30年15%とする取組とし、2025年では概ね5%削減としています。（10年5%ずつ加速）	市川委員